白赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日				原疾患		投与年月	投与前檢查(年 月)	按与後被豪(年 月)	受血省信別NAT	常血管量	伊州血油 湖州中	#3	使用単位数	供血者再就血炎	四一供血者製料確保※	阿一供血者製剤使用 %	都染症等 転機	転費	供血者免避 及の場合の 供血者保管 検体(抗原、 抗体、NAT)	供血者禁避及の場合の供血者 の検査権
	d At The Asia	}		輸血によ		整梁章 			含む。) i	-1				ļ									
七川.百円 ·07046	易性事例 △-	2007/4/18	I		a :a m	1 20	les et as	DUILA	06 /08 /04	HBsAg(-),		陰性(輸血前)	- Image and the second		L	T	I	1	I	· I	4		,
	07000012		2007/5/10	(人表 照射) 人主 解 机水板 漂亮 射線 原外 机 水板 照射)	享液(故			C THINK	06/07 06/06 06/06 06/06- 07/01	(06/06)	 JHBsAg(+) HBsAb(-) (07/04) 	PACE (特面 後)	保管検体70木: HDV-DNA(-) 保管検体1:木: HBV-DNA(+)	¥ .		İ	HBV-DNA(-)の駅面音 来、(31人はHBV関連機 発性、3人はHB-防体 陽性かつHB-抗体陽性 (当該権庫市も用等))。 3人はHB-航体のみ陽 性(2人は当該敵策庫所 HB-抗体陽性かつHB- が保障性)であった。 HB-いのM(-)の財血者 人は素値に再来。(HB) (HB-抗体陽性がの)相の 人は素値に再来。(HB) (HB-抗体陽性)の利 (HB-抗体陽性)の (HB-抗体陽性) (HB-thentile) (HB-then	獎、5本の新鮮3 結血球、37本の 赤血球MAP、1オ の洗浄赤血球を 製造。新鮮凍結 血漿3本は確保 済み。	1 (A)	重篤	未回復	1	ウイルスの解析・悪者検検と 曲者(HP VIBH 化音解検)とす PreS/S領域を含むP領域の前 額の1550baの 配列を比 たところ、患者はGenotype B (Subtype ad)で、原血者は Genotype C (Subtype ad)で あった。
-07050		2007/5/14		人赤血球濃度 射線照射)	漢液(放 明	3 80	慢性腎不全	B型軒炎	06/10	HBsAg(-) (06./09)	HBV-DNA(+) (07/04) HBsAg(+) HBcAg(+) HBcAg(+) HBcAb(-) IgM-HBcAb(-) (07/05)	以性(輸加後)	保管検体(個別 NAT)HBV-DNA 陽性(遡及調査 対象) (06/09) HBcAb陽性(陽 転献血) 個別HBV-NAT 健性 (07/04)			2単位							And the second of the second o
07053		2007/5/18		人赤血球濃原 射線照射)	表後(統) 女	70	循環器疾患	日型肝炎	06/07	HBsAg(-) (06/06)	HBsAb(+) IgM-HBcAb(+) (07./)		保管検体(個別 NAT) HBV-DNA 限性(選及調査 対象) (06/06) スクリーニング NAT(HBV) 限性 (限転献血) (07/01)			2単位							***************************************
- 0 7054		2001/5/24			9,	70	脳梗塞、 凝深器疾 患	₿₽₩₩	07/01		HBsAg(+) IgM+HBoAb(-) HBeAg(+) (07/05)	陽性(輸血後)	保管検体 (個別 NAT) HBV-DNA 放性。 (遊及調査対象) (07/01) スクリーニング NAT(HBV)開性 (開始就血) (07/01)		<適加> 相当医は同時期に使用さ 力を特血血液水につい ても被疑薬と報告してい る。	60単位				非重焦	未回復	保管検体1本 について実 施。(HBV- DNA(一))	A COLUMN COLUMN CONTROL COLUMN
	Annual College of the										min and a second of the second		2 4 5										The second of th

日赤番号	游演奏号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患 者 性 別	-	港染棄名	数年期	投与前検査(年 別)	数与微路室(年 月)	Pinkellin er	teranis	#"		epas.		n-fasun Ber	120一件血管解射使用指	整象接等 短樂	6.	供血者免謝 及の場合の。 供血者保管 検体(抗原	供出者発道及の場合の供由者 の検査値
3-07044	A- 07000610	2007/4/9			女 60			06/08-/10 06/08-/10 06/08-09 06/08-09 06/08-/09	HBsAg(-), HBsAb(-).	III serve II serve III serve III serve III serve III serve III serve III ser	財性(輸血素) 脚性(輸血後)	保管検体114本 についてHBV- NAT実施。 HBV-DNA(一))				人は当該献血時も同様 で、1人はHBs抗体のみ (+))、1人はHBs抗体の み(+)(当該献血時も同	類、22本の新鮮 凍結血漿、46本 の赤血球MAP、1 本の洗浄赤血球 を製造。原料血 費は86本確保等	赤血球は医療機関へ供	里識	未回位	KIR, IMT)	
3-07059	1040	2007/5/30		人赤血环濃厚液(放射線照射)	女 30	消化器疾患	B型肝炎	06/11	HBsAg(-) (06/11)	(07/04) HBsAg(+) HBsAg(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBscAb(+) HBr-DNA(+) (07/-)		AKSTRIKAN NO			6単位		5の原料組で たり動物体を 加工を製造 (m) 料剤に関係する 精組関係するこれ 保済と		東端	軽快		
3-07060	e Subres	2007/5/31	. au	人未血球濃厚液-Lf	99 70	骨髓異形成症候群	B型肝炎	07/04	HBsAg(=)	HBsAg(+) HBsAb(+) (07/05)	्रही काणीक्षा १९मा - अनुस्थित	就管辖床/本分 10g - 11g			4単位		50 (160 km) (1 5 (2) - 30 km) (8 7 (1) - 3 (4 (6) (8)		非重無	(現場: 5.00 (患者は原 疾患により 死亡) 4 亡。 7 (別とりが) 計例 4 年		
100	- 111	1. 1.		山水(水)・ (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)					Market State	HEV-DNA(+) (07/05) If the second sec	Constant	Time jua		Section 1995	We y		Section 1 to the Total Control of the Control of th					

26

日素番号	準別番号	FAX受付日	報告受領日		遊音 性 別		1	投与年月	投与數検査(年 月)	投与微棱查(年 月)		MARKET	新用血液 酸解等		使用単位 数	英曲者再献曲米	同一类血者製剂 破保※	四一供血者复剂使用※	聚染症等 転帰	転攤	供血者発達 及の場合の 供血者保管 検体(技順、 抗体、NAT)	供血者発満及の場合の供血者 の検査値
	10.1		3.4	Add to the 機能ない Call offices Call offices		141					(1) 新疆市 (1) 《1) (4)	047944 14 15 K2			- 18 - 1	STATE OF THE PARTY	# 10 7 g t	ルス(1845年 年) ■ ● 441 	¥ -,		抗体、NAT)	The second secon
					1																	
				a strike Sorgonia Sofficia (Established	-			. 144			5. 6 g · ·	まった。 		The second secon							• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
				January January January											,		and the second s					
				# 17 8) #4 . m 1																		
						5.7					1	in nya s			m.s					1		
輸血後	トレムエで 保全性	 	直後で現代									1										
3-07043			2007/4/13	人赤血球濃厚液 射線照射)	(放 女 60	自己免疫疾患	B型肝炎	05 /09	HBsAg(~) (05/09) HBsAg(~) HBsAb(+) HBcAb(+) HBcV-DNA(+)	(06/03) HBsAg(+) HBsAb(+) HBV-DNA(+) (06/05)	陽性(輸血前)				4単位	1/2 (HBV関連検査(一))	1本の原料血漿、 2本の新鮮凍結 血漿を製造。	原料血泵は使用済み。 新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。	非重篤	未回復		
3-07052		2007/5/17		人赤血球濃厚液	- H. 70	抵债劳车	自洲群本	07:03	(05/09)	HBsAg(+) HBV-DNA(+) (06/12)				u	14単位		***************************************					
				LR 人血小板濃厚液 射線照射)	1 1	患		07/03 07/03		en Al e	- '				20単位 20単位 20単位	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	er e					
			-																			
	***			August Marin						e e e e e e e e e e e e e e e e e e e												
										# 15 Th					0184240-010-248401							

	維別番号	FAX受付日	報告受領日		患者性動物	pee.	感染症名	投与年月	投与前接查(年 月)	数与微検査(年 月)	#4#69 WT	82×83000			使用单位 数	Contracts:	P-RAFEN Mark	同一类与者裁科使用 ※	医染症等 報傳	15.00		鉄曲者発道及の場合の鉄曲1 の接査値
Mina	en 12 HARMENDE	(444), (4) a	विद्या ६	表面是 2000 mg see	9 2.1	- 68 8 a.v	1941	1000	The control of the co	History of the state of the sta	हिंदी निवास इंदर्श श्रीवास	経験体外が で・担い DNA			1 442 p	The state of the s	 大の解析報告 小から前の注意 のでは25年間に 地域は25年間に 直上、必要が25年 明コーロさが表 立。 		T- 19	近極 末期 ・可書はは、 ・可書は、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	抗体、NAT)	
				輸血によるHC	 	段 告 例(製	し 疑い例をi	l 含む。)					**************************************							***************************************		
転事例		, 1	.i .i			-1		r: :	r	1			·								1	
07048	. च्यातः व	2007/5/10	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	人宗血球濃厚液(放射線照射) 射線照射) 新鮮凍結人血炎	95 70	消化器疾患	C型肝炎	06/08 06/08	HCV-Ab(-) (06/07)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (07/02)	स्थान - सम्बद्धः	保管検体4本 Title Heltse			6単位 2単位		3本の新鮮凍結 血漿、1本の赤血	原料血漿は全て使用済 み。新鮮凍結血漿は全 て医療機関へ供給済 み。赤血球MAPは医療 機関へ供給済み。	重集	後遺症有		
-07049	e. sieneerte.	2007/5/11		人,赤血环源尸液(板, 射線報外)-LR	93 50	消化器块患	企业計 委	ĺ	HGV-Ab(-) (07/02) HGVコア抗原 (07/03) itt - 97/2	(6) - (1) -	這樣一樣 超極 混合 - 松 開心	保管技体。(Provide A Provide	- A	# 期定保留とした 献血血 活の調査結果 (1)別管検体における執 責「個別MAT/ 結果 (7)TMAX (検出服界・ 9,801/mL(参) 重減定の裁算・課性 (2)加 House PCR (検出服 男・約 30-000=5 mL)により二重減定の結果・建性 (2)加 House PCR (検出服 リニ重減定の結果・建性 (2)同種製造血漿におけ 毛精査(機別MAT) 結果 17TMAX (検出服界	12単位		5本の原料血焼法 2本の新鮮凍法 2本の新鮮凍法 金原、15名 等い、原は全て で発力 で発力 で発力 で発力 で発力 で発力 で発力 で発力 で発力 で発力		重集	3- life.		
D7 0 51	27(MRHIC)	2007/5/15		人来血环濃厚液(紋 射線照射)	女 90	新環器疾患	C型肝炎	07/01	HCV-Ab(-) (07/01)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (07/05)	ार्थंत्र सम्बद्धाः अस्ति स्थानास्य	宣答程序 。1.5 TUE - 6Hb		9.8IU/m((本) 40.3copies/mL))により三 里瀬定の統果・株性 以上の湖東結果により、TMAと旅性も観束を確 設することができなかった ことから、判定保管とした。	6単位	0/3	one design This deficie that the first		重業	क्यो <i>द</i>		
-07057	इंट्रेस्स्स्मारः	2007/5/29		人赤血球濃厚液(放 射線照射) 新鮮凍結人血変	9 7. 60	肝疾患	C型肝炎	06/10 06/10	HCV-Ab(-) (06/08)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (07/05)	(१८८ - जाम उद्युष्ट प्रशास	Orsydian 6 ,			2単位 20単位		1. 表示 6. 明 . 表面 - 你已一点 表示 4	現れては、一次の時間で、 の一般では数では、これで 数でなる間で、可能では、 表面は数では、これでは、 数ではないでは、	非重黨	7 H :		
07058	Turger	2007/5/30		人赤血球濃厚液(放 射線照射)	女 90	骨折術後 廃用症候 群	C型肝炎	06/10 -07/01	HCV-Ab(-) (06/09)	HCV-RNA(+) (07/05)	110 5540 9	SENSON IN THE SE			10単位		10.44年度 カロイタ (1 -) で記して (1 -) で記して (4.50) ・		非重無	7. 11		

/6

	日素養号	識別番号	FAX受付日	報告受債日	一般名	患 者 性 別	*	感染症 者	松与年月	投与前検査(年 月)	投与機械者(年 月)	受血者循環外入	KATENIA T	が用血液 動削等		使用単位数	美血者再放血 ※	内一供血者製剤 確保※	四一供麻者製制使用※	感染症等 転帰	転帰 放倒 放射 放射 放射 放射 放射 放射 放射	血者発過 との場合の は血者保管 は体(抗原、 に体、NAT)	供車者完選及の場合の供血者 の検査値
														-									
																		- 3 4 -	Brown Street				
				前後で陽性	E.											L	L			I	J		
	3-07047		2007/5/8		大米血球濃厚液 射線無射)-LR	(kg	40 糖尿症	C型肝炎	07/03 07/0304	(07:03)	HCV~Ab(+) HCV-RNA(+) (07/04) HCVコア抗休(+) (07/05) HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (07/05)	陽性(輸血液) 腸性(輸血後)	保管検体12木全 てHCV-RNA(-)			8単位 16単位		3本の新鮮凍結	原料血漿は4木使用済み。赤血球MAPは全て 医療機関へ供給済み。	重無	軽快		
	3-07056	,	2007/5/28		大赤血球濃厚液 大赤血球濃厚液 (LR 大赤血球濃厚液 射線照射)-11(70 多発竹 随種	骨 C型肝炎	07/01 07/02-04 07/03	HCV~Ab(-)	HCVコア抗原(+) (07/04) HCVコア抗原	陰性(輸血後)	4 2 7		1	4単位 14単位 4単位	2/11 (HCV関連検査陰性)	10木の原料血 炎、1木の新鮮液 結血炎-LRを製 造。 新鮮凍結血漿-		重無	未回復		
29					静 かかし、トスタ	m sake to the	むこれ 本口 みト	/DI/97: \/DI	+		(+) HCV-Ab(-) (07/05) HCV-RNA(-) HCV-Ab(-)(61/1/0	5)						LRは確保済み。					
		 A-	2007/4/2	2007/4/13	輸血による総 人朱血球濃厚液		肝疾進	、 【細菌感染		 -	l Franciska	非溶血性副作用関連	同一採血番号の	 	木症例は、1/19に副作用	2単位		本の原料血漿		[1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	軽快		
		0700008			身線館(4) (探顧8刊日)		消化器	依不				検査 ・抗血漿タンバク質抗	血漿(1本)で無 菌試験を実施 無菌試験結果:		名「全角養限、職職、教 ・会員・一、行政 ・受益」として、行政 ・受益」として、「特を ・行いた。し、 ・行いた。し、 ・行いた。し、 ・行いた。し、 ・行いた。し、 ・行いた。は、 ・行いた。 ・だいた。 ・だいた			を製造。原料血 売 供は確解済み。		- Mg, 2019	**EIN		
	3 07045	Δ 0.7000011	2007 4 9	2007 4-20	人志而标识》中段 科整照到一一段 而後101日18日 111月17日1月、6日 新游公司人而近 而後201日日、21	[F] [] []	70 版社:血	細山原河	07 03		11	- 抗血夷タンハク質抗 検接養 強性 - 血質タンパウ質欠機 を含め、 ・ 保育 ・ 保育 ・ 保育 ・ 保育 ・ 保育 ・ 保育 ・ 保育 ・ 保育	血球一LRの同 一採血番号の血 費(6本)で細菌	egin vi de		12単位 6単位		3本の赤血球製 剤を製造。原料	解料血漿は3本使用済 み。 未血味製料は全て医療 機関へ供給済み。		死亡 保性 (改画 変性 より当 なん はんしょう 発音 (以上 発音 (以上 発音 (以上 発音 (以上 発音 (以上 発音 (以上 代本 (以上 代本 (以上 代本 (以上 代本 (以上		

		1.5	FAX受付白	報告受領日		集 者 性 雅	原衣色		12.77	投与政権軍(年 月)	数年88年(年 月)	美血套鐵湖(47)	a-trape		maa <mark>kaaskaa</mark>	R CARRA	血性解析使用率	Sac*	松伸	美国名称名 技体(抗康。	供血者発展及の場合の供血者 の検査値
3-070		dited .	2007/5/29		人血小板濃摩液 /d 神社	X .		和防衛途	07/04		性。	・抗血素シンパク質的 体検索・原性・血素シンパク質的 体検索・原体・ウェスは ・血素・シースは ・血素・シースは ・血素・シースは ・(・)、カースは ・(・)、カースは ・(・)、カースは ・(・)、カースは ・(・)、カースは ・(・)、カースは ・(・)、大照 ・・・を ・・・・を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	血漿(1本)で無 節試験を実施。 無動試験結果: 「適合」	* 輸風・ は日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	學位	1本の原料血原を製造、1012年			區位	依体、MAT)	
	- 1	115 Hore - E	20 4 0 - (Note: The second	。如此是《新文》。 《新文》(《《《新文》)。 《《《《《《《》)。		服金をつかれ	ARD 47. 5			DAMERY CO	기 기술에 148 변기점 지 선 기술 기술 기술 기술 148 기술 기술 기술 기술 기술 148 기술 기술 기술 기술 148 기술 기술 기술 기술	加工,大 "無 医减减分别 無過減減減少	 中報酬益(日本) (1) (3) (4) (5) (4) (5) (6) (6) (7) (6) (7) (8) (9) (8) (9) (1) (1) (1) (2) (3) (4) <li< td=""><td>ni.</td><td>Control & Mile Software for Association Control & Association</td><td></td><td>H 4 24</td><td>.es.</td><td></td><td></td></li<>	ni.	Control & Mile Software for Association Control & Association		H 4 24	.es.		

30

6/6

平成19年7月25日開催 薬事・食品衛生審議会 運営委員会提出資料

別紙

日本赤十字社

試行的 HEV20 プール NAT 実施状況について (輸血後 HEV 感染の予防対策)

1. 試行的 HEV20 プール NAT 実施状況

北海道赤十字血液センター管内 調査期間:平成17年1月1日~平成19年5月31日

	献血者数	HEV-RNA 陽性	陽性率
H17. 1∼H18. 2 ^{÷₁}	341, 174	45	1/7,582
H18. 3∼H19. 5 ^{⊕2}	338, 649	31	1/10, 924
合計	679, 823	76	1/8,945

^{*1} 北海道センターにてNAT実施(ALT高値、検査不合格検体も含む)

2. HEV-RNA 陽性献血者の内訳 別紙

^{*2} 血漿分画センターにてNAT実施(ALT高値、検査不合格検体は除く)

lo.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV	/抗体	HEV	問診該当	喫食歴調査		遡及対象	調査期間: 2005年1月1日~2007年5月
1	2005 /01 /04	-	ļ	-	IgM	I gG	RNA	<u>×1</u>	肉の種類	食べ方	供給製剤	受血者情報
2	2005/01/04	32	M	57			+	無	不明レバー	生	無	
\dashv	2005/02/07	38	F	11			+	無	ブタレバー	生	無	
3	2005/02/13	41	M	103			+	無	回答なし		無	
-	2005/03/25	65	F	17			+	無	回答なし		無	
; -	2005/03/27	26	М	38	_		+	有	不明レバー(問診時)	生	有	赤血球製剤破損のため院内廃棄
1	2005/04/10	54	F	20	-	_	+	無	ウシ精肉	半生	無	TO THE PARTY OF TH
1	2005/04/15	59	F	16	_		+	無	ブタホルモン、シカ精肉	十分加熱	無	
	2005/04/15	35	F	16			+	無	シカ精肉、ウシ精肉	半生	無	
	2005/04/20	25	м	24	 -	+	+	無	ウシレバー、ヒツジ精肉 ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	 	
,	2005/04/28	22	M						ウシホルモン、ヒツジ精肉	十分加熱	有	感染なし
+				44			+	無	回答なし		無	
	2005/06/07	42	М	24	+	+	+	無	ウシ精肉 ウシホルモン、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	有	原疾患により死亡
1	2005/06/22	51	M	52		-	+	無	回答なし		無	
L	2005/07/03	58	М	219	+	+	+	無	不明レバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
L	2005/07/05	22	М	23	+		+	無	回答なし		無	
	2005/07/05	38	М	15		-	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	半生	無	
5	2005/07/13	24	М	19	-	-	+	無	ウシレバー	生	有	 原疾患により死亡
7	2005/09/02	33	М	49	_	_	+	無	ウシ精肉 ヒツジ精肉 ブタホルモン、ブタ精肉	生 半生 十分加熱	無	
	2005/09/01	29	F	100	+	+	+	無	ウシホルモン、ヒツジ精肉 ウシレバー、ウシ精肉、ブタ精肉	半生十分加熱	無	
	2005/09/20	42	М	31		_	+	無	ブタホルモン、不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	
	2005/09/27	20	F	10	_		+	無	ウシ精肉、ブタホルモン、ヒツジ精肉	十分加熱	無	一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
	2005/10/21	41	М	12		1	+	無	回答なし	1 23 25 111	無	
T	2005/10/25	44	F	38	+	+	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
	2005/11/07	30	F	21		_	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ヒツジ精肉 ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生十分加熱	無	
Ī	2005/11/07	31	F	12	+	+	+	有	ブタレバー、ブタホルモン、ウシ精肉	十分加熱	無	
ľ	2005/11/20	28	М	47	+	+	+	有	ウシレバー、ウマ精肉 ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	生十分加熱	無	
T	2005/11/29	35	F	333	+	+	+	有	回答なし	1 22 Market	無	
	2005/12/13	42	М	30	-	_	+	有.	ウシ精肉、ヒツジ精肉 不明レバー、ブタ精肉	半生十分加熱		原疾患により死亡
	2005/12/13	30	М	11	-	-	+	有	不明レバー	十分加熱	有	HEV感染(H18.01.26 運営委員会報告済み)
T	2005/12/22	62	F	14	-	_	+	無	<u> </u>	+	無	
\dagger	2005/12/27	42	F	14			+		<u>回答なし</u>	 	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT	HEV	抗体	HEV	問診該当	喫食歴調査		遡及対象	55 点 其种 10
			,	(IU/L)	ΙgΜ	IgG	RNA	×1	肉の種類	食べ方	供給製剤	受血者情報
31	2006/01/02	22	F	12			+	有	ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	無	
32	2006/01/06	68	М	23			+	無	ウシレバー、ブタホルモン、ヒツジ精肉	半生	無	
33	2006/01/13	36	М	42		_	+	無	ウマ精肉、不明レバー ウシ精肉、ヒツジ精肉 ウシレバー、ブタ精肉、ブタホルモン	生 半生 十分加熱	無	
34	2006/01/18	53	М	238	+	+	+	有	ウシレバー、ウシホルモン	十分加熱	無	
35	2006/01/13	31	М	43	_		+	有	不明レバー ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生十分加熱	無	
36	2006/01/17	48	М	25	_	_	+	無	回答なし		無	
37	2006/01/25	52	M	25	_	_	+	無	不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	輸血後89日現在、HEVマーカーの陽転は見られず追跡調査終了
38	2006/01/30	39	F	22	_	_	+	無	回答なし		無	
39	2006/01/30	25	М	32	_	_	+	有	ウシ精肉、ウシホルモン、ブタ精肉	十分加熱	無	
40	2006/02/02	39	F	35	_	+	+	有	ウシレバー ウシレバー ヒツジ精肉	生 半生 十分加熱	無	
41	2006/02/07	57	М	13	_	_	+	無	不明	不明	無	
42	2006/02/07	40	F	172	+	+	+	無	ウシ 精 肉	十分加熱	無	
43	2006/02/17	39	М	28	_		+	無	ブタホルモン、ブタレバー、ブタガツ、ヒツジ精肉 イノシシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
44	2006/02/20	58	м	22	- 1		+	無	ヒツジ精肉	十分加熱	無	
45	2006/02/21	45	М	30		-	+	無	ウシ精肉 ブタ精肉、ブタレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
46	2006/03/01	46	F	15		· —	+	無	回答なし		無	
47	2006/03/01	50	F	29	_	_	+	無	回答なし		無	
48	2006/03/02	54	М	47	+	+	+	無	ウシ・ブタ(精肉、レバー、ホルモン)、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
49	2006/03/27	40	F	12	_	_	+	無	回答なし		無	
50	2006/04/01	31	F	16	-	_	+		ヒツジ精肉	半生	無	
51	2006/04/04	30	F	14	_	_	+		ブタ精肉、不明レバー	十分加熱	無	
52	2006/04/12	38	М	45	+	+	+		ブタレバー、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
53	2006/04/18	21	М	26	_	-	+		ウシ精肉、ウシホルモン ウシ精肉、ウシホルモン	半生 十分加熱	無	
54	2006/04/22	28	М	14	+	+	+		回答なし		無	
55	2006/04/26	46	М	19		_	+		ブタレバー	半生	無	
56	2006/05/18	62	М	27	_		+		ヒツジレバー	十分加熱	無	
57	2006/07/07	17	М	33		_	+		回答なし		無	
58	2006/07/11	34	F	10	_	-	+		回答なし		無	
59	2006/07/12	21	F	27	_	_	+		回答なし		無	
60	2006/07/22	49	М	46	+	_	+		ウシ精肉、ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	

ധ
~

No.	採血目	年齢	性別	ALT	HEV	抗体	HEV	問診 該当	喫食歴調査		遡及対象	受血者情報
				(IU/L)	IgM	IgG	RNA	※ 1	肉の種類	食べ方	供給製剤	~
61	2006/08/01	62	м	18	_		+		ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
62	2006/09/06	44	F	14			+		喫食歴なし		無	
63	2006/09/29	68	М	15	_	_	+		ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
64	2006/10/21	29	М	22		_	+		調査中		無	
65	2006/11/19	48	М	58	_	_	+		ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
66	2006/11/23	54	М	18	_	_	+		回答なし		無	
67	2006/12/01	43	М	55	_	+	+		ブタ精肉	十分加熱	無	
68	2006/12/04	60	М	46	+	+	+		ウシ精肉	十分加熱	無	
69	2006/12/04	47	М	40	+	+	+		ウシ精肉、ウシホルモン	十分加熱	無	
70	2007/03/01	33	М	41	_		+		ウシレバー	生	無	
71	2007/03/15	42	М	32	_	+	+		ブタレパー、ブタホルモン	半生	無	
72	2007/03/27	55	М	30	_		+		不明レバー	十分加熱	無	
73	2007/04/07	22	F	9	_	_	+		ユッケ ウシホルモン、ヒツジホルモン	生十分加熱	無	
74	2007/05/16	47	F	15	_ ·	-	+		ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
75	2007/05/18	40	F	27	+	+	+		ブタ生ハム(自家製)	半生	無	
76	2007/05/30	33	М	26	_	+	+		ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	

※1:問診喫食歴調査内容 05年 1月1日~05年10月31日:「過去3ヶ月以内にブタ、シカ、イノシシあるいは動物種不明の生肉、生レバーの喫食歴」 05年11月1日~06年03月31日:「過去3ヶ月以内に生肉(半生も含む)、レバー、ホルモン(動物種、焼き方を問わず)の喫食歴」、なお本調査は06年03月31日をもって終了

事 務 連 絡 平成19年6月26日

日本赤十字社血液事業本部 御中

薬事・食品衛生審議会血液事業部会事務局 厚生労働省医薬食品局血液対策課

血液製剤に関する報告事項について

血液事業の推進に御努力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきましては、平成19年4月26日付け血安第140号にて 貴社から報告をいただいたところですが、平成19年7月25日(水)に平成 19年度第2回血液事業部会運営委員会が開催されますので、下記の事項につ いて資料を作成いただき、平成19年6月29日(金)までに当事務局あて提 出いただきますようお願いします。記の11については、平成19年5月23 日開催平成19年度第1回血液事業部会運営委員会提出資料を更新の上、再度 提出ください。

なお、資料の作成に当たっては、供血者、患者及び医療機関の名称並びにこれらの所在地又はこれらの事項が特定できる情報を記載しないよう、個人情報及び法人情報の保護に特段の御配慮をお願いします。

記

- 1. 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 2. 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 3. 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型 肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る9人の供血者のその後の 検査結果 来訪がなければ、その旨
- 4. 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検

査結果。来訪がなければ、その旨。

- 5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る9人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る3人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 10. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液 製剤でHCV(C型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る4人 の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
- 11. 平成18年5月10日開催薬事・食品衛生審議会血液事業部会運営委員会提出資料「問診による捕捉調査の実施状況について」について、その後の調査実施状況。

血 安 第 2 2 0 号 平成19年6月29日

厚生労働省医薬食品局血液対策課長 様

日本赤十字社 血液事業本部長

血液製剤に関する報告事項について(回答)

平成19年6月26日付事務連絡によりご依頼のありました標記の件については、下 記により回答いたします。

記

- 1. 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる 事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
 - ⇒ 残る2人のその後の来訪なし。(8名中6名が来所、検査は全て陰性)
- 2. 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
 - ⇒ 残る5人のその後の来訪なし。(37名中32名が来所、検査は全て陰性)
- 3. 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る9人の供血者のその後の検査結果。来 訪がなければ、その旨。
 - ⇒ 残る9人のその後の来訪なし。(48名中39名が来所、検査は全て陰性)
- 4. 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
 - ⇒ 残る4人のその後の来訪なし。(16名中12名が来所、検査は全て陰性)
- 5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
 - ⇒ 残る1人のその後の来訪なし。(追跡調査対象の4名中3名が来所、HBV-DNAは 全て陰性。1名はHBc 抗体が EIA 法のみ陽性 HI 法陰性、その他の者は全て陰性)

- 6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
 - ⇒ 残る5人のその後の来訪なし。(20名中15名が来所、検査は全て陰性)
- 7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る9人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
 - ⇒ 残る9人のその後の来訪なし。(53名中44名が来所、HBV-DNA は全て陰性。 2名は HBc 抗体及び HBs 抗体陽性、1名は HBs 抗体のみ陽性、その他の者は全 て陰性)
- 8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来 訪がなければ、その旨。
 - ⇒ 残る2人のその後の来訪なし。(29名中27名が来所、HBV-DNA は全て陰性。 2名は HBc 抗体及び HBs 抗体陽性、1名は HBs 抗体のみ陽性、その他の者は全 て陰性)
- 9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る3人の供血者のその後の検査結果。 来訪がなければ、その旨。
 - ⇒ 1人がその後献血に協力頂き、検査は陰性。残る2人の来訪なし。(3名中1 名が来所、検査は全て陰性)
- 10. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でH CV(C型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る4人の供血者の その後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
 - ⇒ 残る4人のその後の来訪なし。(81名中77名が来所、検査は全て陰性)
- 1 1. 平成18年5月10日開催薬事・食品衛生審議会血液事業部会運営委員会提出資料「問診による捕捉調査の実施状況について」について、その後の調査実施状況。
 - ⇒ 別紙のとおり

平成19年7月25日開催 薬事・食品衛生審議会 運営委員会提出資料

別紙

日本赤十字社

試行的 HEV20 プール NAT 実施状況について (輸血後 HEV 感染の予防対策)

1. 試行的 HEV20 プール NAT 実施状況

北海道赤十字血液センター管内 調査期間:平成17年1月1日~平成19年5月31日

	献血者数	HEV-RNA 陽性	陽性率
H17. 1~H18. 2 ^{::1}	341, 174	45	1/7, 582
H18. 3∼H19. 5 ^{⊕2}	338, 649	31	1/10, 924
合計	679, 823	76	1/8,945

^{*1} 北海道センターにてNAT実施(ALT高値、検査不合格検体も含む)

2. HEV-RNA 陽性献血者の内訳 別紙

^{*2} 血漿分画センターにて NAT 実施(ALT 高値、検査不合格検体は除く)

2. HEV-RNA陽性者の内部

No.	採血日	年齢	性別	ALT	HEV抗体		HEV	問診 該当	喫食歴調査		遡及対象	T5.4. W. Let 40
_				(IU/L)	IgM	IgG	RNA	×1	肉の種類	食べ方	供給製剤	受血者情報
1	2005/01/04	32	М	57	_		+	無	不明レバー	生	無	
2	2005/02/07	38	F	11		_	+	無	ブタレバー	生	無	
3	2005/02/13	41	М	103	_	_	+	無	回答なし		無	
4	2005/03/25	65	F	17		_	+	無	回答なし		無	
5	2005/03/27	26	М	38		_	+	有	不明レバー(問診時)	生	有	赤血球製剤破損のため院内廃棄
6	2005/04/10	54	F	20		_	+	無	ウシ精肉	半生	無	
7	2005/04/15	59	F	16			+	無	ブタホルモン、シカ精肉	十分加熱	無	
8	2005/04/15	35	F	16	_		+	無	シカ精肉、ウシ精肉 ウシレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
9	2005/04/20	25	М	24	+	+	+	無	ウシレバー、ウシ精肉 ウシホルモン、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	有	感染なし
10	2005/04/28	22	М	44		_	+	無	回答なし		無	
11	2005/06/07	42	M	24	+	+	+	無	ウシ精肉 ウシホルモン、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	有	原疾患により死亡
12	2005/06/22	51	М	52	_	_	+	無·	回答なし		無	·
13	2005/07/03	58	М	219	+	+	+	無	不明レバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
14	2005/07/05	22	М	23	+	_	+	無	回答なし		無	
15	2005/07/05	38	М	15		_	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	半生	無	
16	2005/07/13	24	М	19		_	+	無	ウシレバー	生	有	原疾患により死亡
17	2005/09/02	33	М	49	_	_	+	無	ウシ精肉 ヒツジ精肉 ブタホルモン、ブタ精肉	生 半生 十分加熱	無	
18	2005/09/01	29	F	100	+	+	+	無	ウシホルモン、ヒツジ精肉 ウシレバー、ウシ精肉、ブタ精肉	半生 十分加熱	無	
19	2005/09/20	42	М	31	_	_	+	無	ブタホルモン、不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	HEV感染(H17.11.1 運営委員会報告済み)
20	2005/09/27	20	F	10	_	_	+	無	ウシ精肉、ブタホルモン、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
21	2005/10/21	41	М	12			+	無	回答なし		無	
22	2005/10/25	44	F	38	+	+	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
23	2005/11/07	30	F	21	_	_	+	無	ブタホルモン、ウシ精肉、ヒツジ精肉 ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
24	2005/11/07	31	F	12	+	+	+	有	ブタレバー、ブタホルモン、ウシ精肉	十分加熱	無	
25	2005/11/20	28	М	47	+	+	+	有	ウシレバー、ウマ精肉 ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉	生 十分加熱	無	
26	2005/11/29	35	F	333	+	+	+	有	回答なし		無	
27	2005/12/13	42	М	30		_	+	有	ウシ精肉、ヒツジ精肉 不明レバー、ブタ精肉	半生十分加熱	有	原疾患により死亡
28	2005/12/13	30	М	11		_	+	有	不明レバー	十分加熱	有	HEV感染(H18.01.26 運営委員会報告済み)
29	2005/12/22	62	F	14	_	_	+	無	回答なし		無	
30	2005/12/27	42	F	14	_	_	+	無	回答なし		無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV	問診 該当	喫食歴調査		遡及対象	
					IgM	IgG	RNA ※1		肉の種類	食べ方	供給製剤	受血者情報
31	2006/01/02	22	F	12	******	_	+	有	ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	無	
32	2006/01/06	68	М	23	1	_	+	無	ウシレバー、ブタホルモン、ヒツジ精肉	半生	無	
33	2006/01/13	36	м	42	_	_	+	無	ウマ精肉、不明レバー ウシ精肉、ヒツジ精肉 ウシレバー、ブタ精肉、ブタホルモン	生生	無	
34	2006/01/18	53	М	238	+	+	+	有	ウシレバー、ウシホルモン	十分加熱	無	
35	2006/01/13	31	М	43	_	_	+	有	不明レバー ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生十分加熱	無	
36	2006/01/17	48	М	25	_	-	+	無	回答なし	1 23 234 365	無	
37	2006/01/25	52	М	25	_	_	+	無	不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	輸血後89日現在、HEVマーカーの陽転は見られず追跡調査終了
38	2006/01/30	39	F	22	_	_	+	無	回答なし		無	
39	2006/01/30	25	М	32			+	有	ウシ精肉、ウシホルモン、ブタ精肉	十分加熱	無	
40	2006/02/02	39	F	35	-	+	+	有	ウシレバー ウシレバー ヒツジ精肉	生 半生 十分加熱	無	
41	2006/02/07	57	М	13	_	_	+	無	不明	不明	無	
42	2006/02/07	40	F	172	+	+	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	
43	2006/02/17	39	М	28	_	-	+	無	ブタホルモン、ブタレバー、ブタガツ、ヒツジ精肉 イノシシ精肉、ブタ精肉	半生十分加熱	無	
44	2006/02/20	58	М	22	_	_	+	無	ヒツジ精肉	十分加熱	無	
45	2006/02/21	45	М	30	_	_	+	無	ウシ精肉 ブタ精肉、ブタレバー、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	
46	2006/03/01	46	F	15	_	_	+	無	回答なし		無	
47	2006/03/01	50	F	29	_		+	無	回答なし		無	
48	2006/03/02	54	М	47	+	+	+	無	ウシ・ブタ(精肉、レバー、ホルモン)、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
49	2006/03/27	40	F	12	_		+	無	回答なし		無	
50	2006/04/01	31	F	16	_	_	+		ヒツジ精肉	半生	無	
51	2006/04/04	30	F	14	_		+		ブタ精肉、不明レバー	十分加熱	無	
52	2006/04/12	38	М	45	+	+	+		ブタレバー、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
53	2006/04/18	21	М	26	_	_	+		ウシ精肉、ウシホルモン ウシ精肉、ウシホルモン	半生 十分加熱	無	
54	2006/04/22	28	М	14	+	+	+		回答なし		無	
55	2006/04/26	46	М	19		_	+		ブタレバー	半生	無	
56	2006/05/18	62	М	27		_	+		ヒツジレバー	十分加熱	無	
57	2006/07/07	17	М	33	_		+		<u></u> 回答なし		無	
58	2006/07/11	34	F	10		_	+		<u></u> 回答なし		無	
59	2006/07/12	21	F	27		_	+		 回答なし		無	
60	2006/07/22	49	М	46	+	_	+		ウシ精肉、ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
		L							<u> </u>			<u> </u>

\sim
_

No.	採血日	年齢	性別	ALT	HEV抗体		HEV	問診 該当	喫食歴調査		遡及対象	受血者情報
				(IU/L)	IgM	IgG	RNA	×1	肉の種類	食べ方	供給製剤	文皿有捐和
61	2006/08/01	62	M	18		-	+		ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
62	2006/09/06	44	F	14	_	_	+		喫食歴なし		無	
63	2006/09/29	68	М	15	_	_	+		ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
64	2006/10/21	29	M	22		-	+		調査中		無	
65	2006/11/19	48	М	58		_	+		ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
66	2006/11/23	54	М	18	_	_	+		回答なし		無	
67	2006/12/01	43	М	55		+	+		ブタ精肉	十分加熱	無	
68	2006/12/04	60	М	46	+	+	+		ウシ精肉	十分加熱	無	
69	2006/12/04	47	М	40	+	+	+		ウシ精肉、ウシホルモン	十分加熱	無	
70	2007/03/01	33	М	41	_	_	+		ウシレバー	生	無	
71	2007/03/15	42	М	32	_	+	+		ブタレバー、ブタホルモン	半生	無	
72	2007/03/27	55	М	30		_	+		不明レバー	十分加熱	無	
73	2007/04/07	22	F	9	_		+		ユッケ ウシホルモン、ヒツジホルモン	生十分加熱	無	·
74	2007/05/16	47	F	15		_	+		ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
75	2007/05/18	40	F	27	+	+	+		ブタ生ハム(自家製)	半生	無	
76	2007/05/30	33	М	26	_	+	+		ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	

※1:問診喫食歴調査内容 05年 1月1日~05年10月31日:「過去3ヶ月以内にブタ、シカ、イノシシあるいは動物種不明の生肉、生レバーの喫食歴」 05年11月1日~06年03月31日:「過去3ヶ月以内に生肉(半生も含む)、レバー、ホルモン(動物種、焼き方を問わず)の喫食歴」、なお本調査は06年03月31日をもって終了

